

## 第41回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

### 1 日 時

平成23年4月3日 10時00分

### 2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

### 3 配布資料

第41回宮城県災害対策本部会議資料

### 4 議事要旨

○村井災害対策本部長

内閣府末松副大臣，復興庁宮城復興担当大臣郡政務官は現地調査の為に欠席である。

○小野寺危機管理監

- ・人的被害については，死者6，969人，行方不明者6，370人である。
- ・都市ガス復旧率は33%である。
- ・被災者情報ダイヤルは7，000件だった。

○仙台管区气象台

- ・冬型の気圧配置である。
- ・北西の風，風速7m～10mである。
- ・最高気温8℃～10℃，朝の最低気温0℃～3℃である。
- ・大潮の時期であり浸水や冠水に注意が必要である。
- ・茨城で震度5弱の余震を観測した。

○今野総務部長

- ・特になし

○伊藤企画部長

- ・東北本線：名取－仙台間のビルが一部倒壊の恐れがあり運休し，4月5日に運転再開の見込み。
- ・東北本線：名取－岩沼間をJRがバス輸送する。
- ・東北本線：松島－小牛田間について，4月9日に運転再開見込み。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原子力発電所事故に係るモニタリング結果は，低い数値で安定している。

○岡部保健福祉部長

- ・医療救護班56チームが従事している。
- ・災害ボランティアについて，4月1日は2,436人である。

○河端経済商工観光部長

- ・自衛隊が灯油ドラム缶1,110缶を石巻へ輸送した。

○千葉農林水産部長

- ・震災により破損した冷凍冷蔵庫内の保管物を，4月8日に海洋投入できるように準備している。
- ・海上保安庁と協力し，大潮状況を確認した。

- ・今後自衛隊の協力もお願いしたい。

#### ○橋本土木部長

- ・4月2日の仙台塩釜港湾復興会議は、主に瓦礫の撤去について議論した。
- ・流域下水道流末処理施設について、仙塩流域(多賀城市)の溢水防止対策の件で仙台市等の関係機関の調整が完了。七北田川への緊急放流について沈殿池設置作業準備中である。
- ・梅雨対策も今後必要になってくる。

#### ○自衛隊

- ・身元不明者95体の遺体を収容した。
- ・3県にまたがる捜索にて28体の遺体を収容した。(うち宮城県17体)

#### ○竹内警察本部長

- ・遺体収容累計7,318体である。
- ・遺族への引渡し,6,083体,市町村への引渡し,214体(3%),計6,297体引渡率83%である。
- ・現在1,021体収容している。
- ・海上から86体収容した。
- ・女川町大浦地区にて12世帯19名が行方不明であり,現場視察の結果,一面に冷蔵庫等の瓦礫が散乱しており捜索が難航する見込み。重機が必要になってくる為早急に対処しなければならない。
- ・環境生活部のテント200張中,突風により100張が吹き飛んでしまった。
- ・大浦地区の遺体安置所を石巻に移動した。1日3,000人位関係者が来ている状況。

- ・河北地区，大川地区，雄勝地区，女川地区の4地区に水が溜まっている状況のため巡回している。

- ・河北署官が遺体1名発見した。
- ・大川小学校の生徒も行方不明者が多い。
- ・車庫証明，運転免許再交付をPRした。
- ・石巻市内は渋滞気味である。

#### ○消防庁

- ・本日緊急消防援助隊712名である。

#### ○海上保安庁

- ・漂流船35隻を曳航した。
- ・石巻港の岸壁の高さと大潮時の溢水状況を調査について，マスコミから海面の高さが岸壁と同じ高さであるとの報告があった。
- ・津波注意報に注意(インフォメール)して欲しい。
- ・三週間後潜水捜索を予定している。

#### ○東北電力(株)

- ・101,868戸(約7%)停電中である。

#### ○東北経済産業局

- ・ガソリンスタンド稼働率79%である。
- ・石油製品出荷量前年比107%である。

- ・東北地区の営業を再開したガソリンスタンド情報は各社ホームページで公開している。

○小林教育長

- ・特になし。

○伊藤企業局長

- ・工業用水事業の概算被害額が増額された。
- ・水道用水供給事業機関全て復旧完了の為、これから工業用水事業機関を公表する。

○村井災害対策本部長

- ・国土交通副大臣より、建設海岸は国直轄で行うとのことである。
- ・昨日農林水産大臣より農地、漁港海岸も国直轄事業で対応するとのことである。
- ・仙南地域は全て国で行うことになり、宮城県は県北の海岸に集中できることになる。

次回は4月4日10時00分に開催する。